

松 葉 広 報

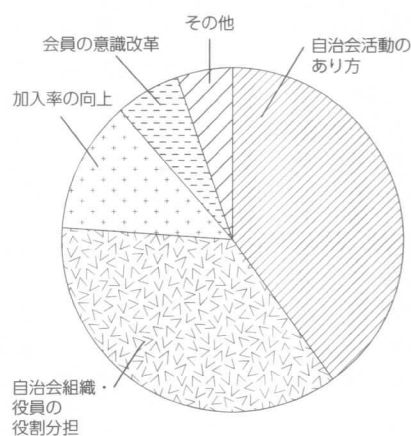
第163号

(2022[令和4]年度 第2号)

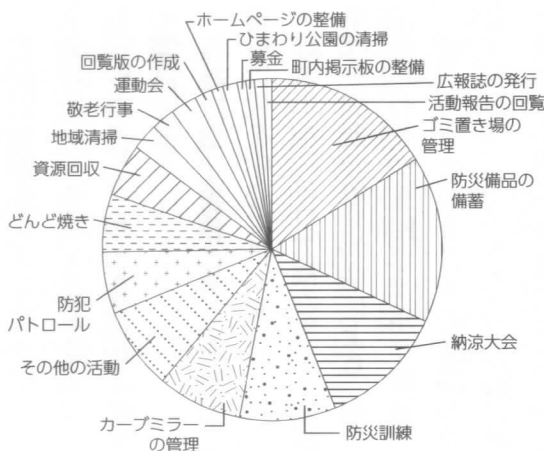
発行 自治会法人松葉町自治会
編集 松葉町自治会広報部
題字 石井志治氏
印刷所 プリンティング山口

会員世帯数 763
賛助会員数 22

(3月1日現在)



改善してほしい
ことの割合



力を入れて欲しい
活動の割合

自治会活動に関する
ご意見を受けて

今年度もコロナの影響で事業計画にあげた行事が思うようにできない状況でしたが、その分、組役員さんや会員さんとの意見交換に時間を割くことができ、年末に実施した自治会活動に関するアンケート(集計結果を上記グラフに示す)等を通じて、本部役員全員が、時代に合った自治会活動のあり方を考える1年となりました。

【力を入れて欲しい活動】

①ゴミ置き場の管理

収集場所の管理は市から自治会に依頼されていますが、設置場所には非会員さんも含めた近隣住民の話し合いと了解の元で決められているため、発生した課題はそれぞれの場所に対応いただくのが最良と考えます。

道路上にゴミ専用ボックスを設置することは禁止されており、ネットは収集後に片づけることを前提に認められています。

個人宅ゴミ収集の要望については私たちの上部組織である相模原市自治会連合会より、市に対して要望を出しています。

②防災備品の備蓄

松葉町自治会の防災備品は、中央区が示す自主防災組織の標準的装備品目安を参考に準備しています。

ですが、昨今、会館を情報集約拠点とする、また、仮避難場所とする等の要望もあり、会館で一時的に生活できる準備を始めています。

しかしながら、各戸での備えが大事であることは言うまでもなく、食料・トイレ・インフラ・消火備品等の準備をお願いします。

【改善してほしいこと】

①自治会活動のあり方

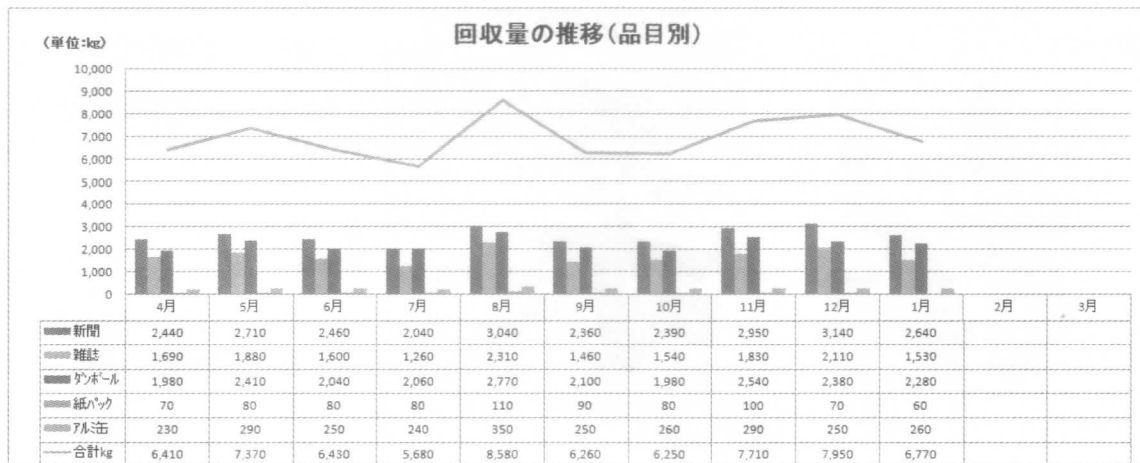
従前行事の内容見直しについて、今年度は「持続可能な納涼大会」を目指して納涼大会検討小委員会を設置し、アンケートの結果等を加味して検討中、その他の行事や活動上の課題については来年度の事業計画案に見直しの取組みを盛り込みます。

②自治会組織・役員の役割分担

組長さんに毎年苦勞をかけている専門部長選出について、毎月の役員会後、4地区に分かれて組長さんどうしが身近な課題を討議する時間を設け、相談しやすい雰囲気づくりを行うとともに、本部役員も積極的に選出活動に関わって支援する体制としました。

次年度もこの取組みを継続・改善を加えて負担を減らしていきます。

資源回収の現状と 収益拡大の取組み



今年度(4～1月)の回収量は月平均6.9t、奨励金収入にすると月平均48千円となり、年間合計は58万円程度の見込みで前年度に對して微増という状況で、ここ数年、回収量は減少傾向にありましたが、資源を回収することの意義浸透、自治会活動として火曜日に出すという会員の皆様の意識向上が、良い結果につながったと考えられています。

資源の種類別需要を考えてみると新聞はスマホ等で情報収集する習慣が普及し、現役世代中心に紙の購読が減少。

雑誌は電子書籍の普及を背景に現役世代を中心に紙の購読が減少。段ボールはコロナ禍のネット通販巣籠り需要の爆発的増により、梱包に使われた空き段ボールが増加。

紙パックはSDGsの認識の高まりもあり、プラスチック容器に置き換わるものとして注目され、今後徐々に増加する予想。

アルミ缶はコロナ禍の家飲み需要増により、アルコール系の空き缶が増加。

という状況ですが、新型コロナウイルス5類化に伴い、アルミ缶

需要は頭打ちが見込まれるものの、ネット通販需要の増加は続き、空き段ボールの排出量は拡大し、これまでの新聞に代わる自治会活動としての資源回収の主役になることが見込まれます。

しかしながら、自治会活動の資源回収収益を拡大するためには、出すことだけでなく、回収してくれる人への思いやりも必要で、

①出す時間を守らない。

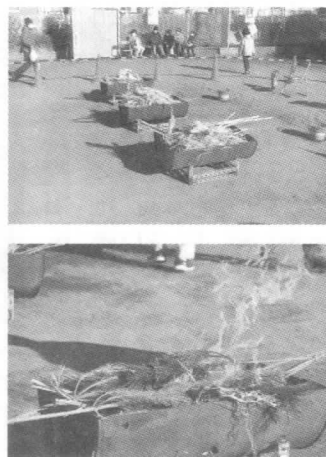
②軽いものでも自宅前に出す。

③出した資源が分別されていない。といった行動が、回収してくれる人を悩ませています。

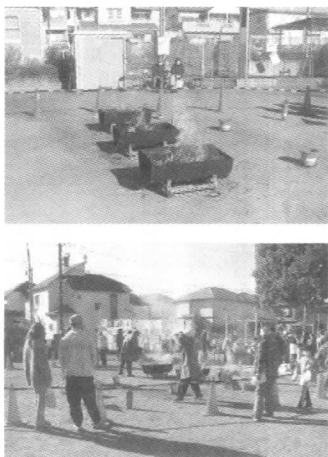
回収は回収業者としての仕事でしよう?と思われるかもしれませんが業者さんの気配りで、出されているものは残すことなく回収して行こうと、繰り返し町内を廻ってくれているのも事実です。

資源を出す時間・出し方を徹底するため、ルールを記載した書面を別途回覧します。全部の分別が難しければ、分別できたものだけでも構いません。回収業者さんへの配慮も忘れず、回収量増・奨励金収入増に向けてご協力をお願いします。

恒例のどんと焼きを 開催しました



令和5年1月8日(日)
ひまわり公園で年初恒例のどんと焼きを開催しました。
昨年度同様、会員さんが集まるイベントはどんと焼きのみになりましたが、感染防止を意識して、飲食や声を出す内容は中止したものの、参加いただいた皆さんには豪華景品をお渡しし、良い年の始めに近づけたのではないかと感じています。



令和4年度の活動を振り返って

会長 馬場吉博（4組）

まずは地域コミュニティの拠点となるべく建設された自治会館の取得に伴う借入金が、会員の皆様にご負担いただいたおかげをもちまして令和4年10月17日完済したことを報告するとともに感謝申し上げます。ありがとうございます。

次に、計画していた事業について、今年もコロナが収束せず、納涼大会、運動会は中止しましたが、新年恒例のどんと焼きは感染症対策を講じて開催できました。

今年度の本部は、組長さんをはじめ会員の皆様の声を聞くことに注力しました。具体的には、役員会の後に行った組長間での意見交換、会員さんを対象とした自治会活動に関するアンケート調査等で、各組が抱えている課題を共有しました。

新規会員の加入促進活動では、新規居住者が転入した際、当該住所の組長さんから情報をいただき、会長と総務部長で入会の勧誘に伺いました。

新たに転入されてきた現役世代の皆さんは、育成会加入やごみ置き場利用で相談相手が必要としているようですので、近隣の皆さんは積極的に相談に乗ってあげてください。皆様の声を聞く毎に、自治会が進むべき方向を決め、実現に向けて具体的な行動をスタートさせる必要性を強く感じた1年になりました。

副会長 松本頼和（4組）

先日新聞で、私たちは現在、人類の存亡に関わる3つの大きな危機

- ・ 世界規模の気候変動
- ・ 新型コロナウイルスのパンデミック
- ・ ウクライナ戦争での核使用危機

に直面している旨の記事を目にし、大変驚くとともに、自治会も今、存亡の危機に直面しているのではないかと深く考えさせられました。

今年度は、馬場会長を中心に自治会活動改革に着手、来年度も継続され、大きく変革していくと思います。

私は自治会活動を通じた「地域貢献」を人生の目的に掲げて10年間はやってきましたが、これまでの経験を活かし、足りない部分は力ある仲間を巻き込んで自治会活動改革を成功に導くべく努力するつもりです。

副会長 清水陽子（11組）

今年度も大きな行事を行えませんでした。納涼大会の見直しをしたり、アンケートをとったりと、本部としては何かと忙しい年でした。コロナも5類になるということで、これからできることは増えてくると思います。次年度が楽しみです。

総務部長 岩佐健（11組）

健康と幸福を持続するために本来に必要なものは何かを知るために米国の研究所が75年にわたって追跡調査した結果、次の3点が大きく関係しているとの報告がされました。

1. 周囲の人との繋がり
2. 身近にいる人達との人間関係の質
3. 良い人間関係

要するに、頼り合い、信頼できる人間関係の構築が必要だということを示しており、地域住民どうしが知り合い助け合う自治会活動は、防犯や防災だけでなく個々人の健康と幸福につながる行動だということです。

自治会活動は住民どうしが「できる範囲で行う互いの支え合い」です。次年度の活動ではこういう観点をPR指針に取込み、活動の活性化、会員増につなげたいと考えています。

令和4年度の会員異動状況

新規加入世帯数	6世帯
退会世帯数	25世帯
逝去者数	33人

※これまではお悔やみとして逝去された方のお名前、組を掲載しておりましたが、昨今の防犯事情を鑑み、人数のみ掲載とさせていただきます。

令和4年度定期総会開催のお知らせ

令和5年3月26日（日）午前10時より陽光台小学校体育館にて定期総会の開催を予定しています。

各組代議員の皆様には代表で出席してもらい、ご審議いただきます。

新型コロナウイルス感染症は5類化へ向かっていますが会場設営にあたってはソーシャルディスタンスの確保等、感染拡大防止対策を十分に施すとともに、出席者される代議員の皆様にはマスクの着用をお願いいたします。なお、当日体調が優れない方は欠席で構いません。

自治会活動支援スマホアプリ “My自治会” 試行運用にご協力をお願いします！

この度、松葉町自治会では、回覧等の自治会活動に必要な情報を電子化してタイムリーに配信、かつ、双方向コミュニケーションも可能な自治会活動支援スマホアプリ（大東建託株式会社が提供するスマホアプリ “My自治会”）を試験導入し、今後の自治会活動に有効な手段となるかどうかを把握することとしました。

以下にインストール手順を示しますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

アプリはこちらから！



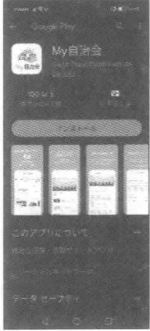
iOS



android

認証コード受信のためのメールアドレスを用意した後、上のQRコードを読み取ってアプリをダウンロードしてください。

- ①



表示された画面の**インストールボタン**をタッチするとインストールが始まります。

②



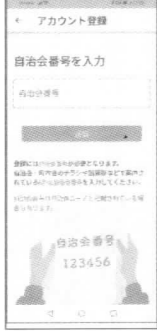
表示された画面の**開くボタン**をタッチすると、登録画面が起動します。

③



表示されたメールアドレス入力画面を上スクロールし、**初めて利用する方はこちら**ボタンを出してそれをタッチします。

④



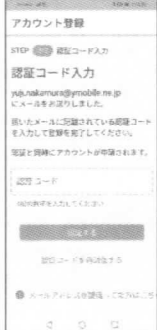
自治会番号に**141520**を入れて、**送信ボタン**をタッチします。

- ⑤



ようこそ松葉町自治会へという画面が表示されたら、用意したメールアドレス、姓・名（漢字）、せい・めい（かな）、パスワード（再入力も）を入力し、**プライバシーポリシーに同意する**をチェックし、**登録する**ボタンをタッチします。

⑥



登録したメールアドレスに認証コードが送られてくるので、その数字を入力し、**認証する**ボタンをタッチしてください。認証ができると“登録が完了しました”という画面に切り替わるので、**はじめる**ボタンをタッチしてください。

- ⑦
- 
- My自治会のメイン画面が表示されインストール完了です。画面下部の**マイページ**をクリックして表示された画面のご自分の名前の部分をクリックし、班（組）、住所を入れて準備完了です。アプリを閉じてください。



My自治会アプリアイコンをホーム画面に登録すると使いやすくなります。

以降、新たな回覧等が配信されるとプッシュ型で通知され、添付されたPDFファイルを開くことで内容を閲覧できるようになります。
また、意見を求めるような形式の情報も配信され、回答を返すこともできるようになります。

編集後記～広報担当の独り言

期中発生した自治会DX試行導入評価（このアプリ）のため、あと1年頑張る予定です。
ご協力のほどよろしくお願いいたします。